

患者への情報発信等の現状

患者向医薬品ガイド
2008年1月更新

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
医療用医薬品の患者向医薬品ガイド(*1)	23成分 (150品目)	237成分 (1,240品目)	270成分 (1,567成分)	294成分 (1,598品目)
重篤副作用疾患別対応マニュアル	—	9件	25件	38件
一般用医薬品添付文書	—	3,306件	7,437件	8,356件
くすり相談(*2)	8,790件	10,505件	11,696件	12,533件

(*1)患者向医薬品ガイドは、重篤な副作用の早期発見等を促すために、特に患者へ注意喚起すべき適正使用に関する情報等を有する医薬品(例えば、警告欄が設けられているもの)について作成されている。

(*2)くすり相談は年度ごとの件数。他は累計。

リレンザ

【この薬は?】

販売名	リレンザ Relenza
一般名	ザナミビル水和物 Zanamivir Hydrate
含有量 (1ブリスター*中)	ザナミビルとして5mg

(*ブリスター:薬の入っているふくらみ)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点がございましたら、本ガイドの「お問い合わせ先」をご覧ください。
「ムページ」

アナフィラキシー

英語名: Anaphylaxis

A. 患者の皆様へ



ここでご紹介している副作用は、まれなもので、必ず起こるというものではありません。ただ、副作用は気づかず放置していると重くなり健康に影響を及ぼすことがあるので、早めに「気づいて」対処することが大切です。そこで、より安全な治療を行う上でも、本マニュアルを参考に、患者さんご自身、またはご家族に副作用の黄色信号として「副作用の初期症状」があることを知っていただき、気づいたら医師あるいは薬剤師に連絡してください。

急性の過敏反応である「アナフィラキシー」は、医薬品によって引き起こされる場合があります。造影剤、抗がん剤、解熱消炎鎮痛薬、抗菌薬、血液製剤、生物由来製品、卵や牛乳を含む医薬品(塩化リゾチーム、タンニン酸アルブミンなど)でみられる場合があるので、何らかのお薬を服用していて、次のような症状がみられた場合には、緊急に医師・薬剤師に連絡して、すみやかに受診してください。

「皮ふのかゆみ」、「じんま疹」、「声のかすれ」、「くしゃみ」、「のどのかゆみ」、「息苦しさ」、「どうき」、「意識の混濁」など